

浜田市の山間地を中心に米軍機とみられる低空飛行が続き、地域住民は、日々、爆音や事故等の不安に悩まされています。自宅で病気療養中や育児中の方、乳児、高齢者にとって、突然聞こえてくる飛行音は、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えております。

この11月3日の祝日にも、午後9時25分頃から同時55分頃までの夜間に、浜田市旭町において、低空飛行に係る飛行音により、会話の声やテレビの音は聞こえるものの、何を話しているか聴き取りにくい程の騒音が鳴り響き、この時も予測無く突然に飛来する米軍機の騒音は、継続的な騒音だけでなく、時には落雷に匹敵する衝撃波的な音もあり、健康な者でも苦痛を感じるとの苦情が寄せられたところ です。

これまで、本市は市民の不安の解消と騒音防止の観点から、島根県を通じて、外務省及び防衛省に対して低空飛行訓練中止を繰り返し要請してまいりました。

また、11月2日には、同市佐野町の学校施設上空を貴基地所属の飛行機が低空飛行し、児童への恐怖心を招いたことにより、低空飛行訓練の中止を要請したところ であります。

貴職におかれましては、日々繰り返される低空飛行訓練によって、激しい騒音被害が平穏な生活を乱している実情と、米軍機による事故に対する不安の中で生活しているという市民の心情を認識の上、低空飛行訓練の実態を明らかにし、低空飛行訓練を中止するよう強く要請いたします。

2011年11月29日

アメリカ合衆国

海兵隊 岩国航空基地司令官

ジェームス・C・シュワート大佐 様

日本国 島根県浜田市長 宇津 徹 男